

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第3回三郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成28年度地域活動支援事業の採択結果について（公開）

(2) 地域活動支援事業の審査・採択の基本的なルールについて（公開）

(3) 三郷区地域協議会の取組と課題等について（公開）

## 3 開催日時

平成28年7月11日（月）午後7時00分から午後8時16分まで

## 4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

3人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・12名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

### 【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：二野委員、保坂真由美委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3報告（1）平成28年度地域活動支援事業の採択結果について—

【山口会長】

続いて、次第3報告（1）「平成28年度地域活動支援事業の採択結果について」事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第4議題（1）地域活動支援事業の審査・採択の基本的なルールについて—

【山口会長】

前回の協議会における地域活動支援事業の審査・採択を踏まえ、意見交換をする。なお、来年度の審査・採択のルールについて具体的に決めるものではない。

【池内委員】

参加費について一番疑問に感じた。安全・安心や地域文化の掘りおこしが趣旨の事業は参加費はいらなと思うが、レクリエーションに近い事業は参加費を取るのが妥当ではないかと思う。

【伊藤委員】

自分も、参加費は取った方がよいと思った。

また、地域の安全・安心は大切なので、地域の皆さんの生命を守ることを一番に考え、事業の採択をした。昔のことを後世に伝えるのも大切なので、そういう事業にも積極的に支援した方がよいと思う。

地域の人意見を聞いて、役立てていける事業が多く出てくればよいと思った。

【山口会長】

思ったことも含め意見を求める。

**【尾崎委員】**

同じ方が複数の事業を提案していた。事業を減額して採択しても、提案者が事業の間でやりくりができてしまう。また、事業の名前を変えてしまえば、一人の提案者が3つでも4つでも事業提案できてしまう。それが良いのか、採択の際に検討する必要があると思った。提案者がいなければ仕方がないが、幅広く提案者を多く集めた方がよいと思った。

**【加藤委員】**

地域活動支援事業がどういうものか整理できていなかったが、単に予算取りが目的で、ここに来れば簡単に予算が取れるという感じが見受けられた。それはどうなのかと感じる。

**【二野委員】**

継続性も大事だが、何年も採択の条件が同じなのであれば、見直す時期だと思う。

**【保坂真由美委員】**

中身が分からないままの審査・採択であった。

提案書を読んだが、他の委員のとおり参加費を取るべき事業があると思う。

地域が世代交代に入ってきている中で、地域活性化を目指して事業を実施するのだと思うが、それに対してどのように取り組めばよいか考えた。古いものは残し、それを土台として、新たな夢を持ち、子どもの時から積み重ねていくべきだと思う。それを踏まえて、新しい一歩を踏み出すために、皆さん取り組んでいると感じた。古いものはないがしるにせず土台として一歩前に行けたら、理想の地区の盛り上がりができると感じた。

**【山田委員】**

申請すれば満額補助が受けられると提案者は考えていたと思うが、今回は予算額をオーバーした。今後もオーバーすることがあると思うので、それを踏まえてルール等を考えた方がよいと思う。

今回は、もっと補助額を減らしていいと思われる事業もあった。また、参加費を取った方がよいと思う事業があった。参加費を取れば、今回は予算内に収めることができたと思う。

**【横尾委員】**

三郷地区の歴史・史跡を研究する会の事業を平成22年から継続して提案してきた。

予算額をオーバーしたのは今回が初めてだが、これは地域の皆さんに認知されてきた

ためであり、今後もそういうことが多く見込まれる。提案者は事業内容を見直し、参加費を取るなど中身を吟味した上で提案するべきである。それでもオーバーする可能性はあるため、その場合の採択や減額の方法は明確に決めておくべきである。

また、提案者は予算がオーバーした場合に事業を見直す等の柔軟性のある考え方をした方がよいと思う。補助金で全額まかない、自己負担なしというのは、補助金をもらっている団体としてはふさわしくないと思う。

#### 【保坂副会長】

事前に提案書を見た際に、参加者に返るものがある事業は参加費を取るべきと考え、いろいろな提案者に質問したため、基本審査で不適合が多く出てしまったのではないかと責任を感じている。しかし、各事業が地域のためにやっているという思いは伝わったことや、地域のために活動する姿もたくさん見ているため、今回減額になった事業が、再度中身を吟味し来年度はよりよいものになることを願っている。

#### 【佐藤委員】

昨年度までは予算が余っていたこともあり、提案を出せば採択されるだろうと考えているような印象を受けた。一人の提案者が複数の事業を提案しているケースがいくつかあるが、一つに絞った方が本当に三郷区のためになる事業ができるのではないかと提案する事業の数が多ければよいというものではない。

#### 【竹内副会長】

減額方法について、今回は基本審査の結果をもとに減額したが、それでよかったのか疑問に思う部分もあるため、次年度のルールについて協議しながら、減額方法についても考えていきたいと思っている。

また、他の委員からも話があったように、例えば三郷体育振興会からは3つの事業が提案されたわけだが、母体になる団体がひとつあり、そこから枝分かれして事業が実施されるのが、三郷区にとって発展的で理想的なかたちである。

地域活動支援事業だけではなく、例えば農林水産省の補助事業など、活用できる補助制度がある。今年度の事業でも、防犯灯は市で助成制度がある。他の事業についても、難しいものはあるが、活用できる補助制度はあると思う。それを協議会の中で勉強できれば、違う予算の作り方ができると思う。

#### 【山口会長】

他に意見を求めるがなし。

今回は委員改選後初の審査だったため、不便に思うこともあったと思う。委員の意見

を要約すると、提案者のプレゼン等を聞いたなかで審査していけばよいということで受け取った。今回の委員の意見を踏まえ、両副会長や事務局と内容を練り、皆さんとも更に協議を重ねた中で、来年度の審査・採択のルールをより良いものにしたい。

#### 一次第4議題（2）三郷区地域協議会の取組と課題等について

##### 【山口会長】

続いて、次第4議題（2）「三郷区地域協議会の取組と課題等について」事務局に説明を求める。

##### 【小林主事】

「上越市地域協議会委員手引き」及び資料No.3により説明。

##### 【山口会長】

前期から引き続き務めている委員に、補足説明を求める。

##### 【竹内副会長】

平成26年度から、コミュニティ施設としての三郷地区公民館の活用をどうするか議論した。耐震性が弱いという診断結果が出たため、改修が先か事業が先か、事業をしている時に何かあった場合の責任問題など、いろいろと議論した。

かつては、毎日のように公民館事業があった。私も青年団として、毎週のように公民館に集まっていた。三郷地区公民館は、昔三郷村の役場があり、中心地だったことから、もっと地域住民が集まらないといけないとまで話した。

自主的審議事項として市に意見書を提出することを目標にいろいろと協議したが、結論は出ていない。耐震化工事にあわせて、トイレ等も使いやすいよう改修できればよいが費用がかかってしまう。市もそこまでの予算は出せないと思われる。そのため、まずはもっと公民館を活用し、こんなに利用されていると市に示すことで、違う方面から施設の改修や改築をアピールすればよいということになった。それを踏まえた上で、平成27年度の高齢者の取組がある。

##### 【横尾委員】

公民館は、高齢者のコミュニティの場として利用できる施設であるべきである。認知症が進むなど、介護が必要な方はデイホームなどの施設に行くが、それに満たない高齢者は行く場所がない。そういう人が公民館を利用すればよいと考えており、それに合わせて利用しやすいよう、平屋建てにする、靴のまま入れるようにする、またはスリッパ

をはけば中へ入れるよう改修してはどうかと思った。

個人的には、高齢者が集まってお茶を飲みながら誰かが話し相手になるような日が何日か設けられるような施設にしたい。

#### 【山口会長】

前期の任期途中に前新井会長から会長職を引き継いだ。当時ハードとソフトの両面で、地域協議会として自主的審議等を踏まえて協議していた。

ハード面では、地域コミュニティの場としての公民館について、いろいろな不都合があった。当時の副市長の井戸端会議で提案が出され、あるいは議会の意見交換会等でも提案されたと聞いている。地域協議会としても、非常に使い勝手が悪いということで、改修等について検討した。例えば、横尾委員が挙げたことや、防災の拠点、福祉施設、保育園等を統合した公共施設はどうかという意見も出た。それらの議論を踏まえた中で、名立区のコミュニティプラザの施設見学研修をして運営方法も研修したが、よい結論は出なかった。

ソフト面では、高齢者世帯の現状と把握について、公民館改修の課題と並行して協議した。合わせて、平成27年4月に介護保険法改正となり、市では要支援1・2以下の、比較的元気な高齢者を対象に、介護予防やお茶のみを行うすこやかサロンやいきいきサロンを開催していることから、高齢者支援課から話を聞いたあと、研修ではNPO法人牧振興会で実施しているサロンと、三郷のすこやかサロンを見学し、参加者と意見交換をした。

素晴らしい事業であるが、今後も継続するためには受入団体をどうするかという課題がある。地域協議会は事業主体にならないため、牧区のような団体を作らなければいけないなど、いろいろな意見が出された。

三郷のすこやかサロンは、回覧や有線でPRしており、大勢の方から来てほしいようである。

公民館事業では出前講座をやっているようだが、年齢制限はないのか。

#### 【保坂真由美委員】

年齢制限はない。

#### 【山口会長】

すこやかサロンというのは、要は「65歳以上の元気な方については、お金が無いから地域で面倒を見て下さい」ということだと思う。13区では、牧振興会などの地域の団体がされているようである。合併前上越市では、JAと社会福祉協議会が分担してや

っている。例えば、金谷区では社会福祉協議会が担当しており、三郷区では、経緯は分からないがJAの高齢者福祉課が担当している。コーディネーターの方との意見交換の中で、平成29年度までには何らかの地域の団体に移行するという事も聞いた。

昨年度までの取組の課題としてこの2点を挙げた中で、今年の3月に前期委員で協議し、今後もこの課題について引き続き取組を進めるのがよいとまとめた。

以上を踏まえて、今後の取組について意見を聞きたい。

**【保坂真由美委員】**

この公民館で開催する体操教室や男の料理教室などの事業に地域住民から来てもらいたいが、あと15～20歳若ければ来られるのにというふうに高齢化によりどうしても来られない方がいる。体操教室の先生は20年前にもこちらで教えており、先生も教わった方もお互いに会いたいということで、去年から出前講座に先生から来ていただいている。ここに来る方は、「この建物は大丈夫か」と必ず言う。また、足腰だめになると2階まではきついとも言う。

60代の方であれば体力面は問題ないが、それ以上の方は、「農作業等で体を動かしているから大丈夫だ」と言うが、使う筋肉が違うことを理解して、多少なりとも体を動かしてもらいたいと思っているが、なかなか浸透しない。

**【山口会長】**

それは公民館事業の話か。

**【保坂真由美委員】**

公民館事業の話である。

**【山口会長】**

JAが開催しているすこやかサロンは65歳以上と年齢制限があるが、公民館事業は年齢制限がないということでよかったか。

**【保坂真由美委員】**

年齢制限はない。

**【山口会長】**

保坂真由美委員から話があった公民館事業の課題は、すこやかサロンでも同様である。すこやかサロンの課題については、資料No.3に記載されている。車で通える方はいいが、車を運転できない方はどうするか、という課題もある。牧区振興会では事業を受託するにあたり、送迎用の車を1台購入し利用者の送迎をしていると聞いている。また、料理や食事の面から2階に調理設備がありよかったという話があったが、今の話のとおり、

足腰の弱い方にとっては高層階よりは低層階の方がよいという意見もあるそうである。そういうことも視野に入れて協議しなくてはならないと思う。

すこやかサロンについて、市の担当課から町内会長に説明があった内容を、保坂副会長から説明願う。

#### 【保坂副会長】

すこやかサロン三郷の平成28年度の運営について、地域の代表者や民生委員、利用者と話し合いをしたいという連絡がJAからあった。

多くの参加者を集めるためどうするかという話、このままJAで続けられないので三郷区の地域の団体に受けてほしいとの話、会場は公民館で大丈夫かという話のほか、公民館の問題とすこやかサロンを地域で引き受ける問題を一緒に進めるべきという話もでた。三郷区を元気でいられる地域にしたいという話でまとまったが、具体的な話は出なかった。

#### 【山口会長】

今後の取組について意見を求める。

#### 【尾崎委員】

なぜ、すこやかサロンを地域に任せることになったか。

#### 【保坂副会長】

国や市の方針のようである。進んでいる区は、既に地域で運営している。合併前上越市では諏訪区が今年度から始めると聞いている。

#### 【山口会長】

補足する。JAではなく国や県、市町村の方針だと思う。できれば地域の住民組織に受けてほしいと聞いている。13区は振興会等の住民組織があったのでそこで受けた。合併前上越市の15区は住民組織がないので社会福祉協議会やJAで実施している。

諏訪区では諏訪の里づくり協議会が、谷浜・桑取区ではかみえちご山里ファンクラブが、どちらも今年の4月から受託した。徐々にそういう動きが出てきている。

昨年すこやかサロンを視察した時には、平成29年度までに何らかの結論を出す必要があると聞いた。そのため地域の協議体で議論する必要がある。JAの都合ではなく行政の方針。

今後は、ソフト面の高齢者支援について関係課から説明を受けるなど勉強することとしたいがいかがか。

地域協議会は、地域の課題について話し合い整理する役割がある。三郷区では地域協



議会と町内会長連絡協議会の二つが主な組織。地域協議会が町内会長連絡協議会に提案し、話し合うのもよいと思う。行政や関係機関の指導を受け、受け皿となる団体を作る。地域活動支援事業を活用できるので、各団体の事業を整理し限られた財源を有効活用できればよい。

そのため次回は担当課の話聞き、今後いろいろな方と意見交換を行うことがよいと思うがいかがか。

**【保坂副会長】**

町内会長連絡協議会でもこの件が議題になり、真剣に考えるべきとの話が出ている。今後一緒に話し合う場を設けるのがよいと思う。

**【山口会長】**

平成26年度に、地域活動支援事業の提案団体や町内会長との意見交換の場で、高齢者の問題が課題にあがっていた。町内会長連絡協議会とも情報交換し、情報を共有しながら取り組みたいと思う。委員任期は4年間あるので、ゆっくり腰を据えて勉強し、できることから取り組みたい。

次回、高齢者支援について担当課の説明を受け意見交換することを諮り、委員全員の了承を得る。

**【池内委員】**

すこやかサロンの目的は。

**【山口会長】**

事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

担当課からは、基本的には介護予防を1つの目的にしていると聞いている。

**【池内委員】**

介護予防ということは病気にならないようにということか。

**【山口会長】**

それも含め、次回担当課からの説明を受けることを提案した。

**【竹内副会長】**

三郷地区公民館ですこやかサロンをしているのをみなさんご存知か。

(「知らなかった。」の声あり)

**【竹内副会長】**

まずは実施していることを知ってほしい。

【保坂真由美委員】

回覧は回っている。

【山口会長】

有線で朝放送している。

【池内委員】

有線は聞いていない。

【保坂真由美委員】

朝と夕方、2回ほど放送している。

【山口会長】

回覧で町内会長に文書が届いているはずである。それを見て欲しい。

【二野委員】

すこやかサロンの案内は、これまで回覧だったがそれだと手元に残らないため、今回から全世帯配布になった。

【山口会長】

今朝も有線で放送があった

【保坂真由美委員】

毎週火曜日で月4回、木曜日に月2回ある。

【山口会長】

午前中が多いのか。

【保坂真由美委員】

午前中が多い。JAのすこやかサロンは、好評で利用者が多い。人数は増減あるが最低でも15～16人。

【尾崎委員】

プラスアルファの提案はできるか。

【山口会長】

どういうことか。

【尾崎委員】

高齢者に絡めて、農業従事者の高齢化により地域の農業をどう守るか、を加えることはできるか。

【山口会長】

今後の話し合いによる。提案のテーマとしては良いと思う。

今回は、前期から引き続けている課題があるため、三役で話し合い、担当課から話を聞いて勉強するのはどうかと提案した。

**【池内委員】**

是非お願いします。

**【二野委員】**

公民館と高齢者の問題について、今年どこまで取り組むのか。

**【山口会長】**

公民館については、市全体の公民館再配置の問題により進んでいない。

その前に、すこやかサロンを住民組織で受けるという問題がある。町内会長連絡協議会でも問題になっている。他の区全てで実施しているのに、三郷区だけしないというのはいかがか。私はJAに引き続き実施してもらってもよいと思うが。

三郷区のいろいろなテーマを一つに絞るため、振興会や部会、協議会を以前の商工会のようにまとめ、集約し事業展開して活性化すればよいと思う。

それに向けて、高齢者の支援について次回担当課の話を聞いて、勉強すればよいということである。

ゆくゆくは町内会長連絡協議会や各種団体と協議しながら、三郷振興会のような組織ができればよいと思う。

**【二野委員】**

三郷地区の町内会長連絡協議会などと一緒に勉強会をするべきだと思う。

**【山口会長】**

その前に、地域協議会として地固め、足元を固めるため担当課から説明を受け、委員と話し合うのがよいと思うがいかがか。そのうえで他の団体との勉強会をするのが良いと思う。

**【二野委員】**

いつまでにすこやかサロンを移管するかは決まっているのか。

**【山口会長】**

昨年度の研修会では平成29年度ころと聞いたが、実際どうなるか分からない。それを含めて市担当課から話を聞く。

今回は高齢者支援について、市の担当者から説明を受けることを再度確認し、委員全員の了承を得る。

—次第5 事務連絡—

【山口会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

- ・次回の地域協議会：8月25日（木）午後7時00分から 三郷地区公民館  
希望する委員の勤務先に対し、会議の出席に配慮を求める通知を出す。希望委員はセンターへ。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL：025-522-8831

E-mail：nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。